

# 接種前に知ってください=子宮頸がん予防ワクチンのリスク=

嵐山町は昨年11月、今年4月、小6～高1の女の子と保護者に子宮頸がん予防ワクチンのお知らせを送りました。子宮頸がん予防ワクチンは、正式名称はHPV(ヒトパピローマウイルス)感染症予防ワクチンです。2013年3月予防接種を決定しました。しかし、副反応が多く、国は、HPVワクチン接種の積極的なお勧めは中止しています。(下記は「子宮頸がんワクチン HPV ワクチンは必要ありません」はたともこ・遊友出版等を参考)

## ①ヒトパピローマウイルス感染症は、性交による性感染症です。持続感染から軽度異形成、高度異形成になって子宮頸がん(10万人に16.9人)に進行します。

		
性交でHPVに感染します。感染しても2年以内に90%が自然排出します。		持続感染で軽度異形成になった若い女性の90%が3年以内に自然治癒します

## ②接種した女の子で副反応に苦しんでいる女の子(若い女性)が多いです。

- (副反応疑い 2013年6月878件⇒2020年12月1870件)
- 他のワクチンに比べて重い副反応の報告が約8倍です。
- 副反応はどんな体質の方にてくるのかわかりません。治療法は確立していません。
- 2016年より、132人の副反応被害者が、国・製薬会社を相手に損害賠償請求訴訟をしています。

[\(https://www.hpv-yakugai.net/\)](https://www.hpv-yakugai.net/)

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会 (<https://hpv-nonono.wixsite.com/mysite>)を参考

副反応被害者の方はいろいろな症状で苦しまれていて、下記の症状が報告されています。



道がわからない

まっすぐに歩けない

知っている人の名前と顔がわからない

かんたんな計算ができない

車いすで外出。

体のいろいろなところが痛い

ハンマーで殴られたような頭痛

体が勝手に動く

進学ややりたいことができなくなった。将来が不安

## ③HPV ワクチン接種より、HPV 定期検査と細胞診定期検診で、子宮頸がんを予防できます。

喫煙しないこと・免疫力を高めること、HPV感染や前がん状態がわかったらパートナーと一緒に治療すると子宮頸がんを予防できます。

	渋谷とみ子 埼玉県比企郡嵐山町千手堂 39-46 TEL/FAX 0493-62-7997 HTTP://space.tom-shibuya.com Email shibuya97@s4.dion.ne.jp	
---	--	---